

平成 30 年 4 月 26 日

全国大学音楽教育学会 会員各位  
全国大学音楽教育学会  
中・四国地区学会 会員各位

全国大学音楽教育学会  
中・四国地区学会  
会 長 小池 美知子



全国大学音楽教育学会  
中・四国地区学会

平成 30 年度 研究会及び総会のご案内  
— 第 1 次案内 —

新緑深まる候、会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、平成 30 年度の研究会及び総会を下記の要領で開催いたします。ご多用中とは存じますが、会員各位、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 30 年 9 月 22 日 (土)
2. 場 所 米子コンベンションセンター-BIG SHIP  
〒683-0043  
鳥取県米子市末広町 294  
TEL 0859-35-0384  
当番校 大阪健康福祉短期大学松江キャンパス・島根県立大学
3. テーマ 保育者養成に関わる音楽の必要性  
—教職課程と保育士養成課程の改訂を受けて—
4. 日 程 9 月 22 日 (土)

12:30～	受付
13:00～14:30	研究発表
14:40～16:40	話題提供 討議
16:50～17:40	総会
18:00～20:00	情報交換会

## テーマ設定の趣旨

2019年度より幼稚園教職課程及び保育士養成課程ともに改正となる。とりわけ、幼稚園教職課程においては教科が「保育内容の専門的事項」へ変わった。保育教諭養成課程検討会によるモデルカリキュラムでは専門的事項の全体目標を「幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や表現を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける」としている。つまり、養成校の教授内容に、幼児の表現に関する発達の理解を基盤にした内容が必須とされているということであり、これまで音楽科目において中核的に教授してきた「歌う・弾く・理解する」といった音楽のリテラシーは求められていないということである。この大きな変革を目の当たりにして、我々音楽教員は、音楽を通した幼児の発達を学生たちにどのように教授するべきなのであろうか。これらの問題意識に基づきテーマの設定に至った。

グループ討議ではご参加の方々と共に、様々な角度からの意見を交わせればと考えております。

### 《研究発表者募集のご案内》

本年度のテーマに沿った研究発表及び各自のフィールドに基づいた自由研究発表のいずれでも結構です。どちらもおよそ20分を予定しています。

研究発表される方は**7月10日（火）**までに、別紙申込用紙にて事務局までお申し込み下さい。多数のお申し込みをお待ちいたしております。

全国大学音楽教育学会 中・四国地区学会 事務局

〒708-8511 岡山県津山市北園町50番地

美作大学短期大学部 幼児教育学科 居原田洋子

E:mail iharada@mimasaka.ac.jp

Tel 0868-22-7718 (代)

Fax 0868-23-6936

平成 30 年度 全国大学音楽教育学会 中・四国地区学会  
研究発表申込書

【発表者氏名】
【所属地区名】 【所属名】
【連絡先】 〈所在地〉 〒     —  〈Tel&Fax〉  〈E-mail〉
【発表テーマ】
【発表要旨】 150 字程度でご記入ください
【使用機器類】

申込先 全国大学音楽教育学会 中・四国地区学会事務局  
〒708-8511 岡山県津山市北園町 50 番地  
美作大学短期大学部 幼児教育学科 居原田 洋子  
E-mail iharada@mimasaka.ac.JP  
Tel :0868-22-7718 (代)  
Fax: 0868-23-6936

申し込み込め切 7月10日(火)  
\*郵送・Fax・E-mailにてお申込みください。